

第5回三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）策定部会 議事概要

1 日時 令和3年2月9日（火） 午後2時00分～午後3時40分

2 場所 JA三重健保会館3階 大研修室

3 議事

（1）三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）最終案について

- 資料1～3、当日配布資料について、事務局から説明。
- 委員からの主な意見は以下のとおり。
 - ・ コラムについて、ゼロカーボンを宣言した2市町と地球温暖化防止活動推進センター、気候変動適応センターの取組を掲載しているが、これ以外にも頑張っている市町や団体はあるはずである。そういうところに関しては、今後啓発などで多くの県民に知ってもらうような活動を期待する。
 - ・ 37ページの針広混交林の写真について、広葉樹が少なく見えるため、もっと広葉樹が多い写真に変えてはどうか。また、構造の豊かな森林の写真については、写真を見ても構造が豊かという意味が分かりづらいため、より分かりやすい写真に変えてはどうか。
 - ・ 8ページの将来イメージについて、こういったイラストを見て三重県の将来を考える方は多いのではないかと思うが、空港のない三重県にバイオジェットが描かれていることで、かえって三重県の将来を考える妨げになるのではないか。
 - ・ コロナ禍で公共交通機関が非常に大変な状況になっており、ポストコロナにおいては、公共交通機関がより頑張れるような未来というのが非常に期待されていると思う。公共交通機関をうまく活用するような社会というのは、コンパクトシティに繋がっていて、日々の暮らしであまりCO₂を出さない生活になり、同時に物流も効率がよくなり、渋滞も減って、結局全部がプラスになると思う。
 - ・ 三重県庁の主な削減取組の中で、毎週水曜日をエコ通勤デーとして、公共交通機関や自転車を利用するというような形で取り組むということだが、公共交通機関を使えるのなら普段から使った方がいいのではないか。
 - ・ マイカー通勤を公共交通機関に切り替えましょうと言っても、公共交通機関がだんだんとなくなりつつある地域では難しく、絵に描いた餅であり、県民の生活に密着していないと感じた。
 - ・ 例えば年配の方が運転免許を返納した時に、エコ通勤パスと連携してバス利用を促進するような、地球温暖化以外の社会課題にも同時に対応していくような取組も検討するなど、わかりやすい形で取組をアピールしていくことも必要ではないか。
 - ・ 温室効果ガスの削減取組について、検討しますや促進しますなど、記載のニュアンスが弱いような気がする。やはり2050年までに排出を実質ゼロにするという宣言を三重県知事が出した以上は、それを達成するための具体的な施策が

もう少しほしいと感じた。

- ・ 気候変動に関しては、技術革新は進むであろうという想定で、2030年を待たずに前倒しに動いている中で、今の立場を守ってる人たちが、どれだけそこに留まれるだろうというような話もあるくらいなので、この計画を必要に応じて見直すということでは追いつかなくなるのではないかと。とにかく前のめりに計画を作っていくべきであるし、県民に対しても、厳しい状況になっていくということ、そして皆さんにはこういうことをしていただきたいということを示していくべきだと思う。
- ・ 脱炭素宣言をした地域がこれだけ増えてくると、今後、宣言をしたところが何をしたのか、どうやっていくのかというところが注目されると思うので、みんな考えていかなければならない。
- ・ 計画を作った終わりではなく、取組はこれから始まるので、この計画に魂を入れて、絵に描いた餅とならないようにすることが、これからの我々を含めた県民全員の仕事であるという意識をしっかりと共有して欲しい。

(2) 今後のスケジュール（案）について

- 資料3により事務局から説明。
- 委員からの意見なし。